

2月

平成  
3年  
1991

横浜市関係

1―高秀横浜市長、平成三年度予算案を  
発表。一般会計、一兆千六百五十五億八  
百五十四万円、前年比九・二%増  
4―港南区総合庁舎に立体式新駐車場が  
完成し利用が始まる。

8―横浜中央図書館(仮称) 五年秋完成  
目指し着工、建物、蔵書ともに五倍の規  
模に

10―第十二回ヨコハマ映画祭、関内ホー  
ルで開催

12―駐車場問題を抱える全国の自治体が  
集まり解決策を考える「全国駐車場整備  
促進協会」が発足、高秀横浜市長が初代  
会長に就任。▽直木三十五の生誕百年記  
念展、金沢区役所ホールで開催(14日)。  
写真などで生涯たどる。

13―横浜市勤労者写真展、技能文化会館  
で開催(17日)

14―日本サッカー協会、一九九三年春の  
スタートを目指すプロリーグ参加の十チー  
ム日産自動車(横浜市)、全日空(横浜  
市と九州全域)などを正式決定。▽市会  
二月定例会開会(13/15)

16―ワークショップ方式により建設され  
た磯子区杉田三丁目公園がオープン

20―市会、子供向けポルノコミック誌の  
規制を求める国への意見書を採択

21―第十二回県市町村行政デザイン展で

自治体・国・社会

1―川崎市ぜん息等四疾病患者  
医療費助成制度スタート。4―  
ブッシュ米大統領、一九九二会  
計年度の予算教書を議会に提出。  
一九九一年度の財政赤字見通し  
は、三千八百八十一億ドルと過去  
最大の赤字幅。5―神奈川県、  
平成三年度当初予算案を発表。  
一般会計一兆五千八百四十八億  
円、八・四%増。7―文部省、  
平成元年度中に全国の公・市立  
高校を中退した生徒数十三万三  
千人と発表。8―「湘南国際村  
会議」の第一回総会開催、会長  
に日本航空会長・渡辺丈夫氏を  
選出。9―関西電力美浜原発二  
号機、原子炉事故で自動停止し  
緊急炉心冷却装置が作動。12―  
韓国と朝鮮民主主義人民共和国  
は、第四回南北スポーツ会談で、  
第四十一回世界卓球選手権とサッ  
カ一の第六回世界ユース選手権  
の国際競技大会に分断後初めて  
統一チームで参加することに合  
意、署名する。15―文部省、国  
公立大学(私立産業医大含む)  
入試の確定志願者数を発表。志  
願者数五十九万七千四百七十七人、  
二万九千九百七十七人の減少。  
▽横浜地裁、池子訴訟で原告の

3月

平成  
3年  
1991

横浜市関係

各部門とも横浜市の作品が大賞を獲得  
23―保土ヶ谷図書館、地元研究者ら招き  
講演会「知っていますか?保土ヶ谷」を  
開催(毎週土曜日、13/9)

25―「よこはま子ども国際平和フェステイ  
バル」実行委員会、デクエアル国連事務  
総長へ平和の手紙を送る

27―横浜日中友好協会、横浜市と上海市  
の市民交流を考えるシンポジウムを関内  
ホールで開催

2―エッセイストの青木雨彦氏(58歳)  
死去

3―「第十二回青年音楽フェスティバ  
ル」、紅葉が丘の県立青少年センターホー  
ルで開催

5―消防防災シンポジウム「世界の災害  
から何を学ぶのか」、関内ホールで開催  
▽「横浜日仏学園」開校一周年

6―東京地検、医療機器導入をめぐる収  
賄容疑で市大元教授を逮捕

13―市消防局、百六十カ所の旅館・ホテ  
ルに国の定めた防災管理基準をクリアし  
たという「適マーク」を交付

15―横浜ベイブリッジ、ライトアップ五  
十三日ぶりに再開、日没から午後十時ま  
で。▽区内の文化市民団体のネットワー  
クづくりのために第一回神奈川区文化展

自治体・国・社会

訴えを却下。17―厚生省、平成  
三年度の国民医療費推計を発表。  
国民医療費の総額二十一兆万七  
千二百億円に。▽第二十五回青  
梅マラソン開催、一万四千人が  
参加。23―タイでクーデター、  
軍が全権を掌握。24―湾岸戦争、  
多国籍軍が地上戦に突入。26―  
東海道・山陽新幹線、三十九年  
十月に開業して以来乗客数三十  
億人を突破

1―湾岸戦争終結。6―日本高  
校野球連盟、神奈川県朝鮮中高  
校野球部の加盟申請を認める  
特別措置。▽多国籍軍への九十  
億ドル追加支援のための湾岸支  
援財源法成立。8―神奈川県公  
文書公開運営審議会、公文書公  
開制度運用の課題について知事  
に提言。10―神奈川県国際交流  
協会、「定住者のための日本語  
シンポジウム」を産業貿易セン  
タービルで開催。▽新都庁、四  
月一日の正式オープンに先立ち  
一般公開始まる。11―「サーフ  
90交流協会」の設立総会、ロイ  
ヤルホールヨコハマで開催。14―  
仙台高裁、「若手靖国訴訟」控  
訴審で違憲判決が確定。15―厚

4月

開催（17日）▽横浜市会、三十八予算議案を含む計四十八議案を成立し、閉会  
 19―横浜く成田空港を八十四分で結ぶ、J R成田エクスプレ開業。▽金沢区富岡西公園の開園式開催。スポーツ・レクリエーション公園としてオープン  
 24―旭区白根公園周辺整備工事が終わり、完成式典を開催  
 26―横浜港埠頭公社、市内の漁業組合の協力をえて、横浜港のごみを大清掃。▽横浜横須賀道路・金利谷く並木間開通  
 27―文部省、国立大学入試合格者の入学手続き状況を発表。百三十五大学の内、横浜市立大学など九十三大学で定員割れ▽ジョセフ・ブレインー国連国際学校総長、市長を表敬訪問  
 29―横浜市・川崎市議員、県議員選挙、告示  
 31―金沢動物園のコアラの子供二匹の愛称「エド」と「フウタ」に決まる  
 1―市立野毛山動物園、昭和二十六年四月一日に開園以来四十周年  
 3―内陸型工業地域づくりを目指す横浜インナーパーク協同組合、瀬谷区の旧国鉄用地で起工式を行う  
 7―市議員選挙、初の即日開票  
 12―ごみの減量化、資源化を促進するための市民利用の総合施設「港南リサイク

生省人口問題研究所、日本の将来人口の暫定推計を発表。生涯出生率五年後に一・三二人まで落ち込むと予測。16―神奈川県内で唯一の未電化路線だった相模線が電化。18―神奈川県知事選告示。19―三浦信用金庫、藤沢信用金庫が合併の覚書に調印。  
 22―文部省、平成四年度四月から在日外国人を公立の教員採用試験の受験を認めるよう全国の都道府県教育委員会に通知。23―「かながわ海岸美化財団」の設立発起人会開催。理事長に久保副知事を選出。▽総理府、「外国人労働者問題に関する世論調査」を発表。外国人労働者の入国を条件付き含め七割が容認。  
 26―日航機事故（昭和六十年八月）訴訟が和解。28―厚生省、「二年国民生活基礎調査」を発表。十八歳未満の子供のいる世帯が四割を切る  
 2―神奈川県医師会館内に「中毒情報相談室」誕生。二十四時間体制、電話で受付。7―神奈川県知事選挙で長洲氏が五選を決める。投票率は過去最低の四五・一七％。▽東京都知事選挙、鈴木俊一氏四選。8―最高裁、テレホンカードは有価証券に当たるとの初判断を示す。9―ソ

ルプラザ」オープン  
 13―下瀬谷小学校・六ツ川台小学校に「コミュニケーションスクール」開校。ともに区内第一号  
 17―市営バスの総合案内システム、四カ所サービス開始  
 19―市営地下鉄一号线戸塚く湘南台駅間（七・四キロメートル）の事業免許を取得  
 20―神奈川県神大寺中央公園にログハウス第一号完成、開館式行われる。愛称は「トムソーヤ」と決定  
 23―MM21地区でごみを集めて処理する廃棄物管路収集施設「クリーンセンター」の完成式開催  
 25―指定都市社会教育委員連絡協議会、横浜郵便貯金会館で開催  
 26―「戸塚区史」発刊、一般販売始まる。▽東名横浜インタチェンジと保土ヶ谷バイパス終点までの自動車専用道路の起工式開催  
 27―市交通局、ブルーラインバスを四台に増強。▽金沢動物園に駐車場が完成、一般利用始まる  
 28―旭区に「矢指市民の森」開園、記念式典開催。市内十八番目の「市民の森」  
 30―泉区上飯田町と大和市上和田の間を流れる境川に人道橋「ふれ逢い橋」が完成、祝賀会を開催

連クルジア共和国最高会議、独立宣言を採択。11―総額七十兆三千四百七十四億円の一般会計予算など平成三年度予算国会で成立する。16―ゴルバチョフ・ソ連大統領、ソ連最高首脳として初めて来日（19日）。▽湘南ブランド商品開発協議会、湘南ブランドのモデル商品51点を発表。19―中央教育審議会、受験競争の緩和や高校教育の多様化を求めた最終答申をまとめ、文部大臣に提出。21―政令市以外の統一地方選の市町長選、同議員選などの投票行われる。市議選では当選者の約六割が無所属候補者。23―経団連、地球的規模の環境問題に対する企業の行動指針を定めた「地球環境憲章」を制定。24―土地対策の柱となる地価税法成立。平成四年一月一日から実施。26―機雷除去のためペルシャ湾へ向けて横須賀基地の掃海艇など三隻が出航。自衛隊として初めての海外派遣となる。▽東京高裁、「平作川水害訴訟」で住民側の控訴を棄却。27―「国際生命尊重連盟」（国連の非政府組織の一つ）の国際会議が東京で開かれ、胎児の基本的権利の立法化などの「胎児の人権宣言」を採択